

第23章 再々補正された評価書の内容を変更した 事項

第23章 再々補正された評価書の内容を変更した事項

23-1 再検証評価書に対する県知事通知及びそれに対する事業者の見解

平成31年3月12日付第201800338729号で通知された、再検証評価書に対する鳥取県知事通知及びそれに対する事業者の見解は、以下のとおりである。

- | |
|--|
| <p>1 再検証評価書に記載された環境保全措置を基本として、事業による環境負荷を最小化し、現状の環境を極力悪化させないよう最大限務め、必要に応じて追加の環境保全措置を講じること。</p> <p>なお、災害廃棄物仮置き場を使用する場合には、廃棄物の飛散流出が無いよう適切に管理すること。</p> |
|--|

事業者の見解

再検証評価書に記載された環境保全措置を基本として、工事の実施中及び供用開始後の各段階にわたって事業による環境負荷を最小化し、環境の影響を極力悪化させないよう、最大限努めてまいります。工事実施中及び供用後の環境負荷の低減対策は以下のとおりです。

《工事実施中の段階》

工事の実施にあたり、造成工事等で使用する重機は可能な限り低騒音型の機械を使用する等、環境負荷の低減対策を行います。

《供用後の段階》

新しい施設においては、地元協定で決定した排ガス等の協定値を遵守するため、地元協定値よりさらに厳しい自主管理基準を設定し施設運営を行っていくこと、施設の騒音・振動対策として吸音材を施工し騒音抑制を行うこと、機器と躯体とを縁切りし振動抑制を行うこと等、できる限りの環境負荷の低減を目指した計画としています。

比較検証結果から現時点では追加の環境保全措置は必要ないと考えておりますが、今後、事後調査の結果等を踏まえて追加の環境保全措置を検討する必要がある場合は、周辺住民や専門家等の意見も聞いたうえで検討し、必要な措置を講じていきます。

なお、災害廃棄物仮置き場を使用する場合には、廃棄物の飛散流出防止の観点から、仮置き場からの運搬時を含め、シートがけや散水、仮囲い等の措置を講じるなど、適切な管理を行ってまいります。

2 予測に不確実性が伴うことを十分に認識した上で、必要に応じて専門家の意見を聴取するなどし、綿密な事後調査を実施すること。

事業者の見解

事後調査については、既に一部で着手しておりますが、予測に不確実性が伴うことを十分認識のうえ、必要に応じて専門家の意見を聴取しつつ、綿密に実施してまいります。また、これまでも、貴重動植物の移植では、生育状況について専門家から意見を伺い、モニタリングや再移植等を実施してきておりますが、今後も追加の環境保全措置等が必要となった場合には、関係行政機関である鳥取市や鳥取県と協議を行いつつ、周辺住民や専門家等の意見も聴取したうえで再検討のうえ、必要な措置を講じてまいります。

また、事後調査の進捗状況を本組合のホームページで公表することや、事後調査後の実施後は、鳥取県環境影響評価条例に沿って事後調査報告書を作成のうえ、鳥取県知事に送付を行う等、評価書の記載事項を確実に実施してまいります。

3 事業が周辺環境に与える影響についての新たな知見を積極的に収集し、現時点では予測評価技術が確立されていないPM2.5などの環境項目についても、必要に応じて追加の調査や環境保全措置を講じるよう努めること。

事業者の見解

本事業が周辺環境に与える影響については、専門家等からの科学的知見を聴取するなど、新たな知見を積極的に収集するとともに、今後の事後調査に反映してまいります。また、現時点では予測評価技術が確立されていないPM2.5などの環境項目についても、必要に応じて追加の調査を行い、その調査結果を踏まえて、適切な環境保全措置を講じるよう努めてまいります。

23-2 再々補正された評価書の内容を変更した事項

「鳥取県東部広域行政管理組合可燃物処理施設整備事業（仮称）」に係る環境影響評価手続きの経過は、以下に記載のとおりである。再々補正された評価書の提出以降、プラントメーカー決定に伴う計画建物等の変更、隣接する河原インター山手工業団地の造成終了に伴い、本事業との事業区域境界が確定したことにより土地利用計画を変更している。また、プラントメーカー決定に伴い、処理施設の詳細設計及び排ガス諸元が確定したことから、排ガス諸元等を変更している。

このため、施設の詳細確定に伴う環境影響の比較検証を行った結果（再検証評価書）を平成31年2月に提出している。

<環境影響評価手続きの経過>

- ・環境影響評価方法書の提出 : 平成21年8月
- ・環境影響評価方法書に対する知事意見の通知 : 平成22年1月
- ・環境影響評価準備書の提出 : 平成24年3月
- ・環境影響評価準備書に対する知事意見の通知 : 平成24年10月
- ・環境影響評価書の提出 : 平成25年1月
- ・環境影響評価書に対する知事意見の通知 : 平成25年3月
- ・補正された環境影響評価書の提出 : 平成25年4月
- ・再補正された環境影響評価書の提出 : 平成25年8月
- ・再々補正された環境影響評価書の提出 : 平成25年9月
- ・県知事より「環境保全の見地から修正の必要が認められない」旨の通知 : 平成25年11月
- ・再々補正された環境影響評価書の公告・縦覧 : 平成25年12月～26年1月

- ・処理方式の絞り込み（3方式5種類から2方式3種類）に伴う比較検証書の提出（第1回対象事業変更届出書） : 平成26年1月
- ・第2回対象事業変更届出書の提出 : 平成26年3月
- ・処理方式決定（ストーカ方式）に伴う比較検証の提出（第3回対象事業変更届出書） : 平成27年11月
- ・工事着手届の提出 : 平成27年11月
- ・第4回対象事業変更届出書の提出 : 平成29年9月
- ・施設の詳細確定に伴う比較検証結果（再検証評価書）の公告、縦覧、一般意見聴取 : 平成30年12月
- ・第5回対象事業変更届出書の提出 : 平成31年2月
- ・環境影響評価に係る再検証評価書の提出 : 平成31年2月
- ・再検証評価書に対する知事意見の通知 : 平成31年3月

表 23-1 対象事業変更届出書の提出経緯

項目	主な変更内容
<p>第1回対象事業 変更届出書 (平成26年1月29日提出)</p>	<p><u>1、対象事業の規模〔処理方式及び計画規模（施設規模・炉数）〕の変更</u> ・処理方式：3方式5種類から2方式3種類に変更 ・施設規模：1日あたり270トンから240トンに変更 ・炉の構成：3炉構成から2炉構成に変更 ・1炉あたり処理能力の増加：1炉あたり90トン/日から120トン/日に変更 <u>2、土地利用計画〔東側生活道路沿い土地利用計画〕の変更</u> ・一部場内アプローチ変更に伴い、東側生活道路沿いエリアにおいて、残置森林の一部を除外のうえ、擁壁等の一部を残置森林や既存道路に変更 <u>3、処理対象物及び計画ごみ質の変更</u> ・処理対象物のプラスチックごみについて、分別排出を基本に汚れたプラスチックごみに変更 ・既存工場の最新のごみ質分析結果に基づき、計画ごみ質の見直し変更</p>
<p>第2回対象事業 変更届出書 (平成26年3月31日提出)</p>	<p><u>1、計画ごみ質変更に伴う環境保全対策の追加変更</u> ・炉内燃焼温度に係る管理の充実化 <u>2、公害防止に係る計画目標値の変更</u> ・1炉あたりの処理能力増加（90 t/日から120 t/日）に伴うばいじん及びダイオキシン類の法規制値等の変更</p>
<p>第3回対象事業 変更届出書 (平成27年11月27日提出)</p>	<p><u>1、処理方式等の決定、環境影響評価書に記載した予測評価内容との比較検証</u> ・処理方式がストーカ方式に決定 ・処理方式の決定に伴う、環境影響評価書に記載した予測評価内容との比較検証 ・比較検証は、以下の2～4の変更等も踏まえて実施 <u>2、土地利用計画〔工場棟の建築面積〕の変更</u> ・処理方式決定に伴い、工場棟のボリュームも含めて土地利用計画を再検討し、工場棟建築面積を変更 <u>3、搬出入車両台数の変更</u> ・平成26年度の圏域内搬入実績をベースに再度搬出入車両台数を見直し <u>4、対象事業実施区域を取り巻く情勢の変化</u> ・工事最盛時期の遅れ、隣接地の工業団地の工事進捗、河原インター線の全線開通による情勢変化を踏まえ、環境影響評価書で記載した「対象事業実施区域及びその周囲の概況」を時点更新、平成25年10月に自主的な騒音振動交通量調査の実施、工業団地の搬出入車両台数について鳥取市へ追加ヒアリングを行い、再試算</p>
<p>第4回対象事業 変更届出書 (平成29年9月11日提出)</p>	<p><u>1、土地利用計画の変更</u> ・地元協議による車両の入場経路の確定及び一部地域で用地取得が困難になったことから、改変範囲を再検討 <u>2、緑化計画の変更</u> ・改変範囲を含む土地利用計画変更による緑地面積の見直し</p>
<p>第5回対象事業変更届、 環境影響評価に係る 再検証評価書 (平成31年2月1日提出)</p>	<p><u>1、土地利用計画の変更</u> ・工場棟をやや南西側に寄せた配置とし、敷地中央より北西側に災害廃棄物仮置場を含めた通路・駐車場等として配置 <u>2、計画ごみ質の変更</u> ・既往施設のごみ質分析データ等を踏まえて見直しを行い変更 <u>3、公害防止に係る計画目標値の変更〔項目（水銀）の追加〕</u> ・大気汚染防止法が平成30年4月に改正され、廃棄物焼却設備にも排出基準が適用されることになったことから、公害防止に係る計画目標値に水銀を追加 <u>4、用排水計画の変更</u> ・生活系排水及びプラント系排水については、実際の水収支を考慮のうえ、排水量や再利用量等を変更 <u>5、緑化計画の変更</u> ・改変範囲を含む土地利用計画見直しのなかで、新設緑地の配置及び面積を変更 <u>6、施工計画の変更〔工事計画、工事工程、工所用車両台数等の変更〕</u> ・詳細な施工計画により、工事計画、工事工程、工所用車両台数及び建設機械台数を変更 <u>7、煙突排ガスの諸元の変更</u> ・プラントメーカー決定に伴い、処理施設の詳細設計及び排ガス諸元が確定したことから排ガス諸元を変更</p>

再々補正された評価書以降に実施した、計画諸元の確定に伴う環境影響評価の再検証の結果、及び再検証結果に対する環境影響評価審査会における意見内容、県知事通知の内容等を総合的に検討のうえ、再々補正された評価書の内容を変更した事項は次のとおりである。

表 23-2(1) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
環境影響評価書の全体構成について	—	再々補正評価書時点から内容を変更した事項について、「第 23 章 再々補正された評価書の内容を変更した事項」を追記しました。	—
第 1 章 事業者の指名及び住 1-1 事業者の名称		鳥取市長名を“竹内 功”から“深澤 義彦”に更新しました。	評価書 1-1 頁
第 2 章 事業の目的及び内容 2-1 事業の目的	—	圏域内のごみ焼却処理施設 3 施設が平成 30 年 3 月に廃止されたことに伴い、時点更新を行いました。	評価書 2-1 頁～2-3 頁
第 2 章 事業の目的及び内容 2-2 事業の内容	2-2-3 対象事業の種類	下 2 行目の記載を“4 施設の集約化を図る”から“神谷清掃工場の後継施設に位置付ける”に修正しました。	評価書 2-4 頁
	2-2-3 対象事業の規模	「1. 処理方式」において、それまでの 3 方式から 1 方式（ストーカ方式）に決定したことから、記載を修正しました。	評価書 2-4 頁
		「2. 計画規模」において、270 t/日（24 時間）〔90 t/日×3 炉〕から 240 t/日（24 時間）〔120 t/日×2 炉〕に決定したことから、記載を修正しました。	評価書 2-5 頁
		「3. 施設規模の考え方」において、計画目標年次を平成 29 年度から平成 34 年度に変更のうえ、施設規模の考え方を見直した旨を記載しました。	評価書 2-5 頁
		「4. ごみ処理方式の選定」において、平成 26 年 1 月に新可燃物処理施設整備計画が公表され、その後平成 27 年 9 月下旬に管理者宛てに第 4 次報告書が提出されるまでの経緯を追記しました。	評価書 2-6 頁

表 23-2(2) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第2章 事業の目的及び内容 2-2 事業の内容	2-2-4 対象事業の内容	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、位置図及び現況図を修正しました。	評価書 2-8 頁、2-9 頁
	2-2-5 対象事業の内容	「1. 土地利用計画」において、隣接する河原インター山手工業団地の造成完了に伴い、事業実施区域確定により、土地利用計画表及び土地利用計画図を修正しました。また、プラントメーカー決定に伴い、建築計画が確定したことから、工場棟の建築面積等も修正しました。	評価書 2-10 頁～2-13 頁
		「2. 計画施設の概要」において、それまでの3方式から1方式（ストーカ方式）に決定したことから、記載を修正しました。	評価書 2-14 頁、2-15 頁
		「3. 計画ごみ質」において、既往施設のごみ質分析データに基づき、見直しを行ったことから、記載を修正しました。	評価書 2-16 頁
		「4. 公害防止に係る計画目標値」について、“ばいじん”、“ダイオキシン類”の規制値の見直しを行い、新たに“水銀”の規制値を追加しました。 騒音については、平成26年3月27日に「騒音規制法」に基づく第4種区域に指定されましたが、周辺土地利用状況等を考慮のうえ、計画目標値については再々補正評価書時点と変更なしとしました。	評価書 2-17 頁
		「5. 環境保全計画及び事故防止対策等」の（5）水質汚濁防止対策について、処理能力が変更（270トン/日より240トン/日）になったことに伴う考え方について追記修正しました。	評価書 2-19 頁、2-20 頁
		「6. 搬入計画」について、搬出入車両台数を変更したことから、その理由とともに修正を行いました。	評価書 2-22 頁
		「7. 用排水計画」について、雨水の流量調整を行う小規模調整池を2カ所から1カ所に変更した旨を記載しました。また、工業団地内排水池が整備済みとなったことに伴い、記載を修正しました。また、排水処理フローを修正しました。	評価書 2-23 頁
		「8. 緑化計画」について、緑地面積及びその構成（新設緑地・残置森林の各面積）が変更になったことから、記載を修正しました。	評価書 2-24 頁
	2-2-6 対象事業に係る工事計画の概要	「2. 工事内容」について、ピーク日の工事用車両台数が増えなくなったことから、記載を修正しました。また、対象事業実施区域の図を修正しました。	評価書 2-26 頁、2-27 頁
2-2-7 その他参考となる事項	隣接する河原インター山手工業団地の工事着手状況、鳥取市へのヒアリング結果を踏まえて土地利用計画、搬出入車両計画、工事予定期間について時点更新を行いました。	評価書 2-30 頁	

表 23-2(3) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況 3-1 自然的状況	3-1-1 地形及び地質の状況	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 3-2 頁～3-5 頁、3-8 頁
	3-1-3 気象の状況	鳥取地方気象台のデータを平成29年度のデータに時点更新しました。	評価書 3-12 頁～3-16 頁
	3-1-4 植物の状況	「3. 保存樹木」について、指定保存樹木の数の時点更新を行いました。対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 3-18 頁、3-19 頁、3-25 頁
	3-1-5 動物の状況	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、地点図を更新しました。	評価書 3-32 頁
	3-1-6 生態系の状況	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、状況図を更新しました。	評価書 3-35 頁
	3-1-7 景観の状況	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、景観資源の分布図を更新しました。	評価書 3-37 頁
	3-1-9 大気質・水質等の状況	「1. 大気質」について、既存資料調査の一般局である鳥取保健所が平成27年5月に鳥取県庁西町分庁舎に移転されたことから、当該測定局のデータを追記するとともに、調査項目毎に時点更新しました。	評価書 3-41 頁～3-49 頁
		「2. 水質」について、現状の最新公表年度の測定データに時点更新しました。	評価書 3-51 頁～3-54 頁、3-56 頁～3-59 頁
		「3. 騒音」について、対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、地点図を更新しました。	評価書 3-61 頁
		「4. 振動」について、対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、地点図を更新しました。	評価書 3-64 頁
「6. 土壌」について、最新公表年度の測定データに時点更新しました。		評価書 3-65 頁、3-66 頁	
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況 3-2 社会的状況	3-2-2 集落の状況	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、地点図を更新しました。	評価書 3-68 頁
	3-2-3 人口の状況	平成29年の公表データに時点更新しました。	評価書 3-69 頁
	3-2-4 土地利用の状況	「1. 土地利用」について、平成28年の公表データに時点更新しました。	評価書 3-70 頁～3-72 頁
		「2. 農用地区域、保安林」について実態に合わせて記載を修正しました。	
	3-2-5 水域利用の状況	「1. 公共用水域」について、対象事業実施区域内のため池1ヵ所が消失したことから、その旨を追記しました。	評価書 3-74 頁、3-75 頁
		「2. 地下水」について、“第2配水池”を“山手配水池”に修正しました。	
	3-2-6 産業の状況	平成27年度の公表データに時点更新しました。	評価書 3-76 頁
	3-2-7 交通の状況	河原インター線が平成25年3月に開通になった旨を追記のうえ、周辺交通量調査結果について平成27年度の公表データに時点更新しました。	評価書 3-77 頁～3-79 頁
3-2-9 環境の保全について特に配慮が必要な施設の状況	最新公表資料により時点更新を行い、有料老人ホーム1施設を追加しました。	評価書 3-82 頁、3-83 頁	

表 23-2(4) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況 3-3 環境関連法令	3-3-1 環境基準及び公害防止に係る地域の指定の状況	「1. 大気質」について、水銀の指針値及び施設からの排出基準を追記しました。また、トリクロロエチレンの基準値を 0.2mg/m ³ から 0.13mg/m ³ に更新しました。さらに、ばいじん及びダイオキシン類について、1 炉あたりの処理能力変更に伴い適用される基準も変更になったことから、記載を修正しました。	評価書 3-85 頁、3-87 頁、3-88 頁
		「2. 騒音」について、平成 26 年 3 月 27 日に「騒音規制法」に基づく第 4 種区域に指定されたことから、記載を修正しました。	評価書 3-84 頁、3-90 頁、3-91 頁
		「5. 水質」について、トリクロロエチレンの環境基準（健康項目）を 0.03mg/L から 0.01mg/L に、排水基準を 0.3mg/L から 0.1mg/L に更新しました。	評価書 3-95 頁、3-97 頁
		「6. 地下水」について、環境基準の塩化ビニルモノマーの名称がクロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）に変更になったことに伴い、記載を修正しました。また、トリクロロエチレンの環境基準を 0.03mg/L から 0.01mg/L に更新しました。	評価書 3-99 頁
		「7. 土壌」について、環境基準にクロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）及び 1,4-ジオキサンが追加になったことに伴い、記載を修正しました。また、1-1 ジクロロエチレンの環境基準を 0.02mg/L から 0.002mg/L に更新しました。	評価書 3-100 頁
	3-3-2 自然環境の保全に係る地域の状況	出典資料の時点更新を行いました。	評価書 3-103 頁、3-104 頁
	3-3-3 史跡、名称、天然記念物等の指定状況	「1. 史跡」、「2. 名称」、「3. 天然記念物」、「4. 埋蔵文化財」について最新公表資料による時点更新を行いました。	評価書 3-105 頁、3-106 頁、3-110' 頁
	3-3-4 鳥獣保護区の指定状況	法律名称が変更になったことから、当該名称を修正するとともに、最新公表資料による時点更新を行いました。	評価書 3-111 頁、3-112 頁
3-3-6 防災に係る指定の状況	千代川氾濫時浸水想定区域図及び土砂災害危険箇所等位置図について、最新公表資料による時点更新を行いました。	評価書 3-115 頁、3-116 頁	

表 23-2(5) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
<p>第7章 調査・予測・評価の手法及び結果</p> <p>7-1 大気環境</p>	<p>7-1-1 大気質</p>	調査項目の一覧に“水銀”を追加しました。	評価書 7-1 頁
		平成 29 年度に実施した水銀調査において、「郷原・上山手地区」は調査地点を変更した旨を記載しました。	評価書 7-2 頁
		文献調査地点に「西町分庁舎」を追加しました。	評価書 7-3 頁
		対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-4 頁、7-6 頁、7-44 頁、7-45 頁、7-50 頁、7-64 頁
		水銀の調査期間を追記しました。	評価書 7-7 頁
		水銀の測定方法を追記しました。	評価書 7-8 頁
		大気汚染物質濃度の文献資料の時点更新を行いました。	評価書 7-10 頁～7-16 頁
		水銀の現地調査結果を追記しました。	評価書 7-27 頁
		気象の状況の文献調査結果を、平成 29 年度の公表データに時点更新を行いました。	評価書 7-28 頁
		土地利用の状況の記載を「北側には、鳥取市の総合運動場があり」から「北側には、河原インター山手工業団地があり」に更新しました。	評価書 7-41 頁
		自動車交通量の調査結果を、平成 22 年及び平成 25 年の調査結果に更新しました。	評価書 7-41 頁～7-45 頁
		有害大気汚染物質の環境基準等に水銀の指針値を追記しました。また、トリクロロエチレンの基準値を 0.2mg/m ³ から 0.13mg/m ³ に更新しました。	評価書 7-46 頁
		ばいじん及びダイオキシン類の基準等に係る施設規模を「2t/時以上～4t 未満」から「4t/時以上」に修正しました。	評価書 7-48 頁
		廃棄物焼却炉に係る水銀の排出基準を追記しました。	評価書 7-48' 頁
		予測式の出典を「道路環境影響評価の技術手法 2007 改訂版」から「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）」に更新しました。	評価書 7-51 頁
		資材運搬車両の走行に伴う交通量の予測条件を、最新の条件に時点更新しました。また、予測時期を「工事開始後 28 カ月目～39 カ月目」から「工事開始後 32 カ月目～43 カ月目」に更新しました。	評価書 7-52 頁、7-53 頁
		汚染物質排出量の出典を、「自動車排出係数の算定根拠（平成 15 年 12 月）」から「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成 24 年 2 月）」に更新しました。	評価書 7-54 頁
		窒素酸化物濃度の換算式の出典を「道路環境影響評価の技術手法 2007 改訂版」から「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）」に更新しました。	評価書 7-55 頁
		資材運搬車両等の走行に伴う大気質の予測結果を更新しました。	評価書 7-55 頁～7-57 頁
		日平均値の年間 98% 値又は 2% 除外値の換算式を「道路環境影響評価の技術手法 2007 改訂版」から「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）」に更新しました。	評価書 7-56 頁

表 23-2(6) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-1 大気環境	7-1-1 大気質	廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の交通量の予測条件を時点更新しました。	評価書 7-59 頁、7-60 頁
		車種別排出係数の出典を「自動車排出係数の算定根拠（平成 15 年 12 月）」から「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成 24 年 2 月）」に更新しました。	評価書 7-60 頁
		廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質の予測結果を更新しました。	評価書 7-61 頁、7-62 頁
		煙突排ガスの排出による大気質の予測項目に水銀を追記しました。	評価書 7-63 頁
		煙突排ガスの排出による大気質の予測方法に水銀を追記しました。	評価書 7-65 頁
		煙突排ガスの諸元の予測条件を更新しました。	評価書 7-68 頁
		水銀のバックグラウンド濃度を追記しました。	評価書 7-69 頁
		煙突排ガスの排出による大気質の予測結果を更新しました。	評価書 7-76 頁～7-82' 頁、7-83～7-90 頁
		水銀に係る環境保全目標値を追記しました。	評価書 7-92 頁
		工事の実施及び施設の存在・供用に係る評価結果を更新しました。	評価書 7-93 頁、7-94 頁

表 23-2(7) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-1 大気環境	7-1-2 騒音	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-96 頁、7-97 頁、7-111 頁、7-114 頁、7-125 頁
		平成 25 年に実施した騒音調査の調査期間を追記しました。	評価書 7-98 頁
		平成 26 年 3 月 27 日に「騒音規制法」に基づく第 4 種区域に指定されたことから、記載を更新しました。	評価書 7-100 頁、7-101 頁、7-104 頁、7-105 頁
		平成 25 年に実施した騒音調査の調査結果を追記しました。	評価書 7-102 頁
		土地利用の状況の記載を「北側には、鳥取市の総合運動場があり」から「北側には、河原インター山手工業団地があり」に更新しました。	評価書 7-102 頁
		資材運搬車両の走行に伴う騒音の予測時期を「工事開始後 31 カ月目～35 カ月目」から「工事開始後 36 カ月目～37 カ月目」に更新しました。	評価書 7-106 頁
		資材運搬車両の走行に伴う交通量の予測条件を、最新の条件に時点更新しました。また、予測時期を「工事開始後 31 カ月目～35 カ月目」から「工事開始後 36 カ月目～37 カ月目」に更新しました。	評価書 7-108 頁
		資材運搬車両の走行に伴う騒音の予測結果を更新しました。また、「予測地点を走行する資材運搬車両台数が減少していることから、再予測は実施していない」旨を記載しました。	評価書 7-109 頁
		建設機械の稼働による騒音の予測時期を「工事開始後 15 カ月目」から「工事開始後 6 カ月目」に更新しました。	評価書 7-110 頁
		建設機械の稼働による騒音の音源の予測条件を更新しました。	評価書 7-113 頁
		建設機械の稼働に係る騒音の予測結果について、「ピーク時期の建設機械台数が減少していることから、再予測は実施していない」旨を記載しました。	評価書 7-111 頁、7-114 頁～7-116 頁
		廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の交通量の予測条件を更新しました。	評価書 7-118 頁
		廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の予測結果を更新しました。	評価書 7-119 頁
		施設の稼働に伴う騒音の設備機器の音源の予測条件を更新しました。	評価書 7-123 頁
		平成 26 年 3 月 27 日に「騒音規制法」に基づく第 4 種区域に指定されたことから、施設の稼働に係る騒音の評価の手法の記載を修正しました。	評価書 7-124 頁、7-127 頁
		施設の稼働に伴う騒音の予測結果を更新しました。	評価書 7-124 頁、7-125 頁
施設の稼働に係る騒音の環境保全措置の内容を更新しました。	評価書 7-126 頁		
工事の実施及び施設の存在・供用に係る評価結果を更新しました。	評価書 7-128 頁、7-129 頁		

表 23-2(8) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-1 大気環境	7-1-3 振動	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-131 頁、7-151 頁
		平成25年に実施した振動調査の調査期間を追記しました。	評価書 7-132 頁
		平成25年に実施した振動調査の調査結果を追記しました。	評価書 7-134 頁
		土地利用の状況の記載を「北側には、鳥取市の総合運動場があり」から「北側には、河原インター山手工業団地があり」に更新しました。	評価書 7-135 頁
		資材運搬車両の走行に伴う振動の予測時期を「工事開始後 31 カ月目～35 カ月目」から「工事開始後 36 カ月目～37 カ月目」に更新しました。	評価書 7-137 頁
		資材運搬車両の走行に伴う交通量の予測条件を、最新の条件に時点更新しました。また、予測時期を「工事開始後 31 カ月目～35 カ月目」から「工事開始後 36 カ月目～37 カ月目」に更新しました。	評価書 7-139 頁
		資材運搬車両の走行に伴う振動の予測結果を更新しました。	評価書 7-140 頁
		建設機械の稼働による振動の予測時期を「工事開始後 15 カ月目」から「工事開始後 6 カ月目」に更新しました。	評価書 7-141 頁
		建設機械の稼働による振動の稼働台数の予測条件を更新しました。	評価書 7-144 頁
		建設機械の稼働に係る振動の予測結果について、「ピーク時期の建設機械台数が減少していることから、再予測は実施していない旨」を記載しました。	評価書 7-142 頁、7-144 頁、7-145 頁
		廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の交通量の予測条件を更新しました。	評価書 7-147 頁
		廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の予測結果を更新しました。	評価書 7-148 頁
		施設の稼働に伴う振動の設備機器の振動源の予測条件を更新しました。	評価書 7-150 頁
		施設の稼働に伴う振動の予測結果を更新しました。 工事の実施及び施設の存在・供用に係る評価結果を更新しました。	評価書 7-150 頁、7-151 頁 評価書 7-153 頁、7-154 頁

表 23-2(9) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-1 大気環境	7-1-4 悪臭	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-156 頁
		土地利用の状況の記載を「北側には、鳥取市の総合運動場があり」から「北側には、河原インター山手工業団地があり」に更新しました。	評価書 7-159 頁
		予測に用いた気象条件のダウンウオッシュ時の風速を「9.1m/秒」から「23.8m/秒」に更新しました。	評価書 7-161 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-2 水環境	7-2-1 水質	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-168 頁
		水質汚濁物質の文献調査を平成28年の公表データに時点更新を行いました。	評価書 7-169 頁、7-171 頁、7-172 頁
		公共用水域の水質汚濁に係るトリクロロエチレンの環境基準値が「0.03mg/L」から「0.01mg/L」に変更された旨を備考欄に追記しました。	評価書 7-174 頁、7-178 頁
		地下水の水質汚濁に係るトリクロロエチレンの環境基準値が「0.03mg/L」から「0.01mg/L」に変更された旨を備考欄に追記しました。また、「塩化ビニルモノマー」の項目名が「クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）」に変更された旨を備考欄に追記しました。	評価書 7-177 頁、7-181 頁、7-188 頁
		トリクロロエチレンの排水基準が「0.03mg/L」から「0.01mg/L」に変更されたことから記載を修正しました。	評価書 7-184 頁、7-186 頁
		カドミウムの排水基準が「0.1mg/L」から「0.03mg/L」に変更されたことから、記載を修正しました。また、1-4 ジオキサンの排水基準「0.05mg/L」が新たに追加されたことから、記載を追記しました。	評価書 7-186 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-3 土壌環境・その他の環境	7-3-1 地形・地質	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-192 頁
	7-3-2 土壌	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-198 頁
		土壌の汚染に係る環境基準に「クロロエチレン」及び「1,4 ジオキサン」が追加された旨を備考欄に追記しました。また、「シス-1,2-ジクロロエチレン」が「1,2-ジクロロエチレン」に変更される予定である旨を追記しました。	評価書 7-199 頁
		土地利用の状況の記載を「北側には、鳥取市の総合運動場があり」から「北側には、河原インター山手工業団地があり」に更新しました。	評価書 7-201 頁
		土壌中のダイオキシン類の付加量の表中上段に“(稼働年数 30 年)”を追記しました。	評価書 7-202 頁
		ダイオキシン類の濃度の「付加濃度」の値を更新しました。	評価書 7-202 頁
		施設の稼働に伴う煙突排ガスによる土壌の予測結果を更新しました。	評価書 7-203 頁
		施設の稼働に伴う煙突排ガスによる土壌の評価結果を更新しました。	評価書 7-205 頁

表 23-2(10) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
<p>第7章 調査・予測・評価の手法及び結果</p> <p>7-4 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</p>	7-4-1 植物	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-207 頁、7-209 頁、7-210 頁、7-215 頁、7-217 頁、7-224 頁、7-225 頁、7-227 頁、7-228 頁、7-237 頁、7-238 頁
		土地利用計画の変更に伴い、植生分布面積における直接改変区域の面積 (ha) 及び比率 (%) を更新しました。	評価書 7-214 頁
		土地利用計画の変更に伴い、植生自然度における直接改変区域、調査範囲の面積 (ha) 及び割合 (%) を更新しました。	評価書 7-216 頁
		重要な種の選定基準に係る文献を更新しました。	評価書 7-218 頁
		ヨシ群落について、「本事業では改変されないものの隣接する工業団地の影響により消失する」旨を記載しました。	評価書 7-223 頁
		土地利用計画の変更に伴い、植生自然度の変化における直接改変区域、調査範囲の面積 (ha) 及び割合 (%) を更新しました。	評価書 7-223 頁、7-226 頁
		土地利用計画の変更に伴い、コ克蘭の残存株数の変化について、本事業により改変される可能性のある株数を「61 株以上」から「55 株以上」に、残存する株数を「5 株」から「11 株」に、改変比率を「約 92%」から「約 83%」に更新しました。	評価書 7-220 頁、7-230 頁、7-233 頁、7-236 頁～7-238 頁
		ミズマツバの移植先について「調整池やビオトープ等」から「地ユノ谷溜池跡地」に更新しました。また、移植の計画は現時点で詳細は未定であるため、図示していない旨を記載しました。	評価書 7-238 頁
	7-4-2 動物	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-241 頁～7-245 頁、7-252 頁、7-263 頁、7-265 頁、7-281 頁、7-283 頁、7-286 頁、7-289 頁、7-290 頁、7-329 頁～7-337 頁
		注目すべき種の選定基準の「絶滅のおそれのある野生生物の種リスト」の出典を時点更新しました。また、「絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律」に「(平成 29 年 6 月 2 日公布)」を追記しました。	評価書 7-271 頁
		土地利用計画の変更に伴い、生息環境の変化における直接改変区域、造成後の面積 (ha) 及び比率 (%) を更新しました。	評価書 7-285、7-288 頁
		土地利用計画の変更に伴い、予測対象種の生息状況の変化の造成後の確認数 (個体)、生息環境 (ha) 及び予測結果を更新しました。	評価書 7-292 頁～7-297 頁、7-299 頁～7-302 頁

表 23-2(11) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-4 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	7-4-2 動物	土地利用計画の変更に伴い、残置森林の面積を「約 4.1ha」から「約 3.0ha」に更新しました。	評価書 7-309 頁
		施設の稼働に伴う騒音・振動の影響に係る保全措置の内容を更新しました。	評価書 7-310 頁
		予測対象種の変化の程度の評価結果を更新しました。	評価書 7-311 頁～7-316 頁
		注目すべき種の選定基準の更新に伴い、オオタカの「国内希少野生動植物種」の指定を削除しました。	評価書 7-274 頁、7-321 頁
		保全すべき対象に対する影響の回避、低減の評価結果を更新しました。	評価書 7-327 頁、7-328 頁
	7-4-3 水生生物	現地調査地点の読み方について備考を追記しました	評価書 7-338 頁
		対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-339 頁、7-367 頁、7-368 頁、7-372 頁、7-373 頁、7-375 頁、7-376 頁、7-393 頁～7-396 頁
		注目すべき種の選定基準の「絶滅のおそれのある野生生物の種リスト」の出典を時点更新しました。また、「絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律」に「(平成 29 年 6 月 2 日公布)」を追記しました。	評価書 7-361 頁
		注目すべき種の選定基準の更新に伴い、ドジョウの指定を「DD」から「NT」に更新しました。	評価書 7-362 頁、7-389 頁
		土地利用計画の変更に伴い、生息環境の状況における水路の延長 (km)、溜池の面積 (ha)、事業実施区域及び直接改変区域の面積 (ha) 及び割合 (%) を更新しました。	評価書 7-366 頁
		周辺環境の変化の予測結果を更新しました。	評価書 7-371 頁、7-374 頁
		水生生物相の変化の予測結果を更新しました。	評価書 7-377 頁
		予測対象種の生息状況の変化の予測結果を更新しました。	評価書 7-377 頁～7-380 頁
		造成工事に伴う生息環境への影響について、保全対象種からクロゲンゴロウ、キベリクロヒメゲンゴロウを削除しました。	評価書 7-386 頁
		予測対象種の変化の評価結果を更新しました。	評価書 7-387 頁～7-389 頁
		注目すべき種と保全すべき対象の評価結果を更新しました。	評価書 7-390 頁、7-391 頁
		保全すべき対象に対する影響の回避、低減の評価結果を更新しました。	評価書 7-392 頁

表 23-2(12) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-4 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	7-4-4 生態系	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-399 頁、7-401 頁、7-408 頁～7-411 頁、7-413 頁、7-416 頁、7-418 頁、7-420 頁
		土地利用計画の変更に伴い、フクロウの餌環境の状況における土地利用区分の面積 (ha) を更新しました。	評価書 7-414 頁
		土地利用計画の変更に伴い、モリアオガエルの産卵・生息環境における土地利用区分の面積 (ha) を更新しました。	評価書 7-415 頁
		施設の存在による生息地の分断・移動経路の変化の予測結果を更新しました。	評価書 7-419 頁
		工事の実施及び施設の存在・供用に係る保全措置の内容を更新しました。	評価書 7-421 頁
		保全すべき対象への事業者の見解及び保全措置を踏まえた事業者の見解を更新しました。	評価書 7-422 頁、7-423 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-5 人と自然との豊かな触れ合い	7-5-1 景観	対象事業実施区域の形状が変更になったことに伴い、関連する図面を更新しました。	評価書 7-425 頁、7-426 頁、7-428 頁、7-434 頁
		計画施設の配置等の変更に伴い、予測地点からの眺望景観の変化の状況の予測結果を更新しました。	評価書 7-435 頁～7-443 頁
	7-5-2 触れ合い活動の場	施工計画の更新に伴い、主要な触れ合い活動の場へのアクセスルートの改変の予測時期を「工事開始後 31 カ月目～35 カ月目」から「工事開始後 36 カ月目～37 カ月目」に更新しました。	評価書 7-450 頁
		主要な触れ合い活動の場へのアクセスルートの改変の予測結果を更新しました。	評価書 7-450 頁～7-452 頁
		施設の存在・供用に係る評価結果を更新しました。	評価書 7-454 頁
	第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-6 環境への負荷	7-6-1 廃棄物等	建設工事に伴う副産物の発生において、「建設発生土については、切土及び盛土によるバランス調整を行い、場外搬出がないことから予測項目としていない」旨を追記しました。
施設計画の詳細確定に伴い、建設工事に伴う副産物の発生の予測方法を「事業計画の内容より推定」する方法に更新しました。			評価書 7-455 頁
施設計画の詳細確定に伴い、建設工事に伴う副産物の発生の予測結果を更新しました。			評価書 7-456 頁
施設計画の詳細確定に伴い、施設の供用に伴う廃棄物の予測結果を更新しました。			評価書 7-457 頁
施設の存在・供用に係る環境保全措置の内容を更新しました。			評価書 7-458 頁
工事の実施及び施設の存在・供用に係る評価結果を更新しました。			評価書 7-458 頁、7-459 頁

表 23-2(13) 再々補正された評価書の内容を変更した事項

項目	再々補正された評価書の変更点	再検証評価書への記載及び変更理由等	評価書に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-6 環境への負荷	7-6-2 温室効果ガス	予測方法の排出係数の設定に用いた「温室効果ガス排出量の算定・報告マニュアル」及び「エネルギー環境報告書」の資料の出典を更新しました。	評価書 7-460 頁
		予測方法の排出係数及び地球温暖化係数を更新しました。	評価書 7-460 頁
		予測条件の施設の炉数を「3炉」から「2炉」に更新しました。	評価書 7-461 頁
		予測条件の計画施設の活動量を更新しました。	評価書 7-461 頁
		温室効果ガスの排出量及び削減量の予測結果を更新しました。	評価書 7-461 頁、7-462 頁
		施設の存在・供用に係る評価結果を更新しました。	評価書 7-462 頁
第8章 環境保全措置	—	環境保全措置の内容を更新しました。	評価書 8-2 頁、8-4 頁～8-6 頁
第9章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価	—	対象事業に係る環境影響の総合的な評価結果を更新しました。	評価書 9-1 頁
		各環境要素に対する評価結果を更新しました。	評価書 9-2 頁、9-5 頁、9-6 頁
第10章 事後調査の内容 10-2 事後調査の項目及び方法	10-2-1 工事の実施時	工事の実施時における事後調査の項目及び方法等を更新しました。	評価書 10-2 頁
	10-2-2 施設の供用時	施設の供用時における事後調査の項目及び方法等を更新しました。	評価書 10-3 頁～10-6 頁